
温度監視システム「DP-AI」／「医薬品室温輸送サービス」について

GDPに対応した医薬品保冷輸送サービス「DP-Cool」を業界に先駆けて展開したことで、同サービスで培ったノウハウや、蓄積された膨大な物流データを活かし、近年ではさらに高品質な医薬品物流サービスを提供しております。

2020年より導入した温度監視システム「DP-AI」など、様々な工程にデジタル技術を積極導入し、CAPAを毎日効率的に継続実施することで輸送品質向上を進め、2021年度には温度異常発生率の大幅減を実現（2020年度比で50%減、2018年度比で67%減）いたしました。また、2020年には「DP-Cool」で培った仕組みやノウハウを活かし、業界に先駆けて室温帯でのGDPに対応した「医薬品室温輸送サービス」を全国で開始しました。室温品は安定性が高い反面、ボリュームが多くコストインパクトが大きいことから、同サービスではTMCなどの既存インフラを活用することに加え、蓄積データを基にリスクベースでコンセプトを策定し、より多くのプレイヤーと連携してサービス構築することで、多くの皆様にご利用いただけるサービスの構築を進めております。